

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉中学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
 住所 〒248-0005

E-mail : kamachu@ynu.ac.jp

Website : http://www.kamajhs.ynu.ac.jp

児童生徒数：男子 259名 女子 259名 合計 518名

児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (歴史・地域理解)

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

① 科学部の活動【環境・生物多様性・歴史・地域理解】

鎌倉の海岸（由比ヶ浜・材木座海岸）で年3回ビーチコーミング（漂着物調査）を行った。採集した漂着物を、「生物・自然」「文化・歴史」「環境」の3つの観点から分類し、研究を進めた。また、横浜市立の高校や大学と共同で、神奈川県（真鶴）、千葉県（谷津干潟・沖ノ島）で校外学習を行い、生物や植生、地形等の調査を行った。これらの研究・調査を通して、鎌倉の地域特性についてまとめ、発表した。

② 帰国生の活動【国際理解・伝統文化・地域理解】

本校に在籍する約40名の帰国生が、「鎌倉に観光に訪れた外国の方へのインタビュー」や「日本文化の体験活動（茶道・寺社めぐり）」などの活動を通して、海外から見た鎌倉の特徴や魅力について学習した。また、「海外生活体験発表会」を行い、帰国生一人ひとりが、自分の滞在していた国の文化や生活体験について発表した。

③ 総合的な学習の時間【地域理解】

人との交流を中心にした実践的・体験的な学習活動を通して、情報活用やコミュニケーションに関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、社会や職業と自己とのかかわりについて理解を深め、自己の将来にかかわる問題を主体的に解決する能力と態度を育む目的で学習を行った。

・「インタビュー学習」（1年生）

地域の方をはじめとする様々な人との出会いや学びの中で、社会をたくましく生きる人について考える。

・「職場体験活動」（2年生）

職業学習を通して、自分が現在の社会で生きていく上で必要な力について考える。

・「自主研究」（3年生）

個人で探究するテーマを設定し、修学旅行や進路学習等を通して、今後の自分の生き方について考える。

・「鎌倉未来会議」（3年生）

3年間の学習の総まとめとして、「これからの鎌倉をよりよくするために」というテーマで本校生徒が提言を行い、保護者、地域の方や、商工会議所、鎌倉ユネスコ協会の方々と、意見交換を行ったり、感謝の気持ちを込めて合唱を披露したりした。

上記①～③の活動成果を、校内発表会や校内常設展示、ユネスコ協会の活動報告会等を通して、全校生徒や保護者、地域の方に向けて発信した。また、今後の活動として、隣接する附属小学校や、近隣の公立小中学校との合同行事を企画している。

本校は、2012年にユネスコスクールに加盟しました。
ユネスコスクールとしての活動にあたり、本校の教育テーマ「『夢』ふくらませ、『心』温かく、『力』合わせる」を受けて、活動重点目標を以下のように設定しました。

『夢』未来に向けて希望を持ち、持続可能な社会の実現を目指す姿勢を身に付ける。

『心』地域や他の学校、世界のさまざまな人との交流を通じ、情報や体験を分かち合うことで、互いの立場を尊重する姿勢を身に付ける。

『力』地域や世界の環境・歴史・文化に関心を持ち、地球規模の諸問題の解決に向けて主体的に行動する実践力を身に付ける。

上記の目標達成を達成するために、小学校では【地域連携・環境保護】に関する取り組み、中学校では【環境保護・文化・芸術】および【国際理解・国際協力】に関する取り組みを行っています。

小学校では、ユネスコ委員会を児童が組織して、2013年には、地域でNPO活動をしている人達と関わり、鎌倉の町探索をして町づくりについて意見交換をしました。また、2014年には前年度の経験から鎌倉のゴミ問題について問題意識をもち学校の周りを清掃活動したり、ゴミの分別やポイ捨て防止を呼びかけるため、児童が出演する啓発映像を作成するなどの活動を行いました。

中学校では、ユネスコスクール加盟の前年の2011年に、科学部が行っている「ビーチコーミング（漂着物調査）」が、鎌倉ユネスコ協会の「鎌倉ユネスコユース賞」を受賞しました。それ以降も継続して調査を行い、鎌倉の【自然・環境・文化・歴史】に関する研究を行っています。また、本校には海外からの帰国生徒が多く在籍しており、それらの生徒で組織された帰国生の会の活動では、「海外生活体験発表会」や「鎌倉に観光に訪れた外国の方へのインタビュー」「日本文化の体験活動」など、【国際理解・国際協力】に関する活動を行っています。これらの活動成果は「文化活動発表会」で全校生徒や保護者、地域の方に向けて発信しています。また、「総合的な学習の時間[LIFE]」では、生徒一人ひとりが自分の生き方について探究する中で、地域の方にはインタビュー学習や講演、職場体験など、さまざまな形で協力していただいています。2015年の3月には「鎌倉未来会議」を開催し、本校の3年生が、「これからの鎌倉をよりよくするために」というテーマで提言を行い、保護者、地域の方や、商工会議所、鎌倉ユネスコ協会の方々と、意見交換を行ったり、合唱を披露したりしました。

2015年度の活動としては、9月に、本校（小・中学校）および、地域の小・中学校合同で、「ビーチコーミング（漂着物調査）」を行うなど、小・中学校の連携や、地域の学校との連携をさらに推進していく予定です。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）